

Y05a 東京電機大学天文学研究室の立ち上げとその運営

樋口あや（東京電機大学）

東京電機大学工学部理学系物理学コースの天文学研究室は、2021年4月に鳩山キャンパスに新設された研究室である。本学初の観測天文学（電波天文学・光赤外線天文学）を推進する研究室であるため、研究・教育の方向性を模索しつつ研究室運営を行っている。本学の教育・研究理念は「技術は人なり」である。「よき技術者は人としても立派でなければいけない」とのことで、世界で活躍できる技術者を育成することが本学の目標でもある。本研究室も本学理念に則り、観測天文学を通じて優秀な技術者を育成していきたい。そのために、学内での勉強だけでなく観測所や研究所へ出向き、現場で観測や解析経験を積むことで学生の技術力を向上させ、優れた人材の育成を行うことを目標とする。

本研究室では、天文学教育として現場経験を重要視したいと考え、電波・光赤外線観測実習を導入した。そのために、東京大学木曾観測所と茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センターとは、観測実習の受け入れ体制を構築した。電波観測実習では、高萩32m電波望遠鏡を、光赤外線観測実習では、木曾観測所のシュミット望遠鏡と搭載されたTomo-e Gozenカメラを用いた観測を実施した。本講演では、電波・光赤外線観測実習の内容とその結果について報告し、本学における天文学教育の需要と影響、そして課題について議論する。